

おわりに

驚きのシカ食害の結果、三嶺の森は、貴重な山野草などを失ったばかりか、「森が循環する仕組み」と「水と土を守る森の力」まで壊れ、山が崩れて下流にも影響を及ぼしてきた。

険しい山岳地形ゆえに起きたこととはいえ、全国各地でも同様の問題が起きている所は少なくない。石鎚山系のようにリスクが高まり始めているところもあろう。

私たちは、早め早めの対策を、自然を愛する多くの人々の参加と連携協働のもとに進めて、貴重な自然と環境を守っていくための、参考になればとの思いで冊子を作成しました。

なお、本冊子は、三嶺が「日本山岳遺産」(事務局:山と溪谷社)に認定され、助成金を元に作成したものです。ご協力いただいた方々には厚く御礼を申しあげます。

代表 依光良三



日本山岳遺産
JAPAN MOUNTAINS HERITAGE

【編集委員】 石川愼吾・押岡茂紀・坂本 彰・西村武二・依光良三

【執筆・作成】序、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅴは、依光を中心に、一部、押岡、坂本が原案を構成し、編集委員会で議論し、修正する形で作成した。Ⅳの調査関連に関しては、文末に執筆者名を記している。

【写真撮影・提供】「みんなの会」メンバー以外の写真には、写真下に提供者名を入れている。

「みんなの会」及び関係者の撮影者は以下の通りです。

石川愼吾（調査関連等、32点）、押岡茂紀（三嶺の森等、23点）、門脇義一（2001-3年風景、13点）
公文雅樹（カヤハゲのシカ、2点）、坂本彰（草本類の写真等、27点）、野口朗子（活動等、6点）
前田綾子（石立山等、5点）、安丸清司（中東山等、2点）、横山俊治（調査関連、8点）、
依光良三（風景・活動・シカ等、214点）、四国森林管理局・署提供（空撮、わな等、9点）

シカ食害で痛む さんれい 三嶺の森—再生への途と課題

2017年5月1日 発行

発行者 三嶺の森をまもるみんなの会

代表 依光良三

〒781-5233 高知県香南市野市町大谷 698-1

印刷・製本 西村謄写堂

〒780-0901 高知県高知市上町 1-6-4
